

大宮キャンパス新施設建設工事の地鎮祭が行われました

* * *

学校法人芝浦工業大学（東京都江東区／理事長 鈴見健夫）は2024年2月26日に大宮キャンパス新施設建設の地鎮祭を執り行い、工事の安全を祈願しました。当施設は、大宮キャンパス再整備プロジェクト「O-CAMP（Omiya Campus Master Plan）2027」計画の第二弾で、創立100周年に向けた重点的な取組みの一つです。グリーン、デジタル、Well-beingを意識した設備を備え、健康科学やスポーツテクノロジーにも重きを置いて社会貢献や学外との連携、地域連携BCPの実現などを目指します。

また、施工者である鹿島建設株式会社から、AR技術を用いてタブレット端末上で現実世界に重なるように新施設完成後のイメージが紹介されました。



▲大宮キャンパス新施設建設イメージ図

■ 大宮キャンパス新施設 工事概要

1. 建物規模など

建設地：埼玉県さいたま市見沼区深作 307 番地

敷地面積：44,796.70 m²

建築面積：6,514.82 m²

延床面積：21,720.63 m² (6,570.48 坪)

構造：RC 造、一部 S 造

階数：地上 7 階

2. 設計・管理・施工

建設主：学校法人芝浦工業大学

基本設計・設計監修・管理：株式会社安井建築設計事務所

実施設計・施工：鹿島建設株式会社

3. スケジュール

着工予定 2024 年 3 月 1 日

完了予定 2025 年 12 月 20 日



▲ (仮称) 芝浦工業大学大宮キャンパス新施設整備事業 地鎮祭集合写真



▲鹿島建設株式会社から提供を受けた AR 画像



▲鎌（かま） 株式会社安井建築設計事務所 佐野吉彦代表取締役社長



▲鍬（くわ） 学校法人芝浦工業大学 鈴見健夫理事長



▲鋤（すき） 鹿島建設株式会社 天野裕正代表取締役社長

芝浦工業大学とは

工学部／システム理工学部／デザイン工学部／建築学部／大学院理工学研究科

<https://www.shibaura-it.ac.jp/>

理工系大学として日本屈指の学生海外派遣数を誇るグローバル教育と、多くの学生が参画する産学連携の研究活動が特長の大学です。東京都（豊洲）と埼玉県（大宮）に2つのキャンパス、4学部1研究科を有し、約9,500人の学生と約300人の専任教員が所属。2024年には工学部が学科制から課程制に移行し、従来の教育の在り方を根本から変えていきます。創立100周年を迎える2027年にはアジア工科系大学トップ10を目指し、教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。

取材に関する問い合わせ先

学校法人 芝浦工業大学 入試・広報連携推進部企画広報課 柴田

TEL 03-5859-7070 FAX 03-5859-7071 E-mail koho@ow.shibaura-it.ac.jp

以上